3D00212001

TEAC

取扱説明書

W-790R

ダブルカセットデッキ

お買い上げいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

分解禁止

この機器のキャビネットは絶対に外さない。
キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。
また、接続は指定のコードを使用する。

電源を入れる前には音量を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

カセットホルダーに手を入れない。
特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
 電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

カセットテープについて

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温多湿の場所での使用・保管は避けてください。
- スピーカーやテレビなど、磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。

おすすめできないカセットテープ

つぎのようなカセットテープを使用すると、正常な動作や性能が得られないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

形状精度の悪いカセットテープ

カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

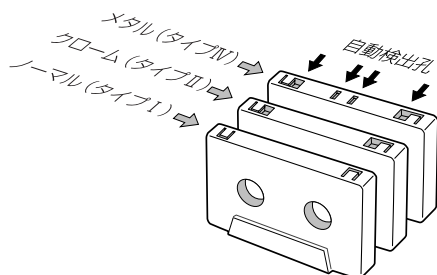
120分以上の長いテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。お使いにならないでください。

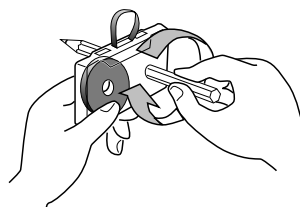
エンドレステープ

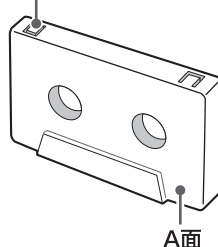
巻き込まれる恐れがありますので、お使いにならないでください。

自動検出孔について

カセットにはテープ自動検出孔が付いています。
本機ではテープの種類が自動検出されますので、必ず検出孔のついたカセットをお使いください。

- 本機の、TAPE ⅠとTAPE Ⅱは別々にテープの種類を検出しますので、種類の異なるカセットを同時に使用することができます。

テープの「たるみ」

テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。

録音防止用のつめ

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、録音防止用のつめがついています。つめはカセットのA面、B面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、録音防止装置が働いて録音ができなくなります。

再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
注：テープ自動検出孔はふさがないでください。

ドルビーNRシステムについて

録音時に発生する「シー」というテープノイズを低減するのがドルビーNRシステムです。Bタイプは一般用、CタイプはBタイプのノイズ低減性能をさらに向上させたものです。本機はBタイプとCタイプを内蔵しています。

- ドルビーNRでシステムは録音→再生の両方で効果を発揮しますので、再生するときは録音したときと同じタイプを選んでください。
- ドルビーNRで録音したカセットは、ドルビーNRのタイプをメモしておきましょう。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。HX Proはバングアンドオルフセンの考案です。
ドルビー、DOLBY、HX ProおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

W-790R

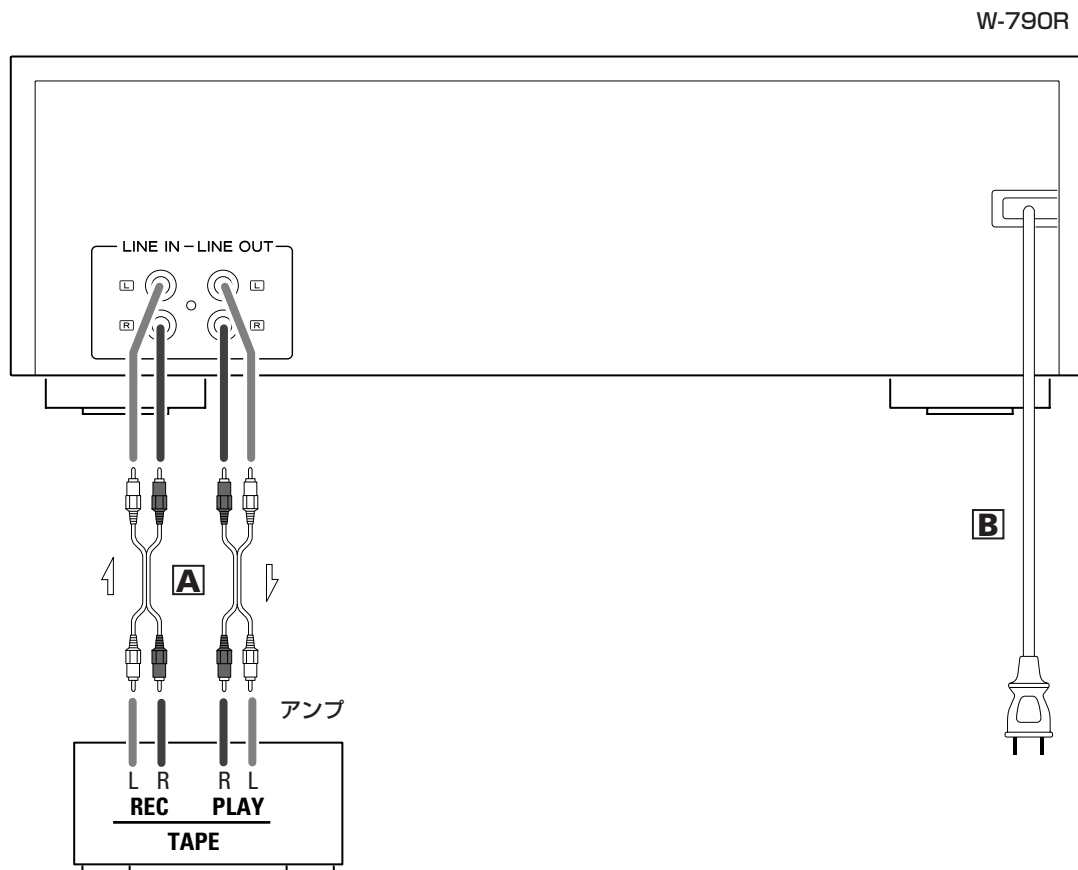
LINE IN – LINE OUT

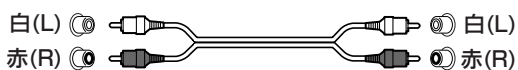
L R

A

B

アンプ

L R　R L
REC　PLAY
TAPE

A 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

RCAケーブルでアンプの音声入出力端子と接続してください。
音声入出力端子はLが左チャンネル、Rが右チャンネルです。白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B 電源プラグ

電源プラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

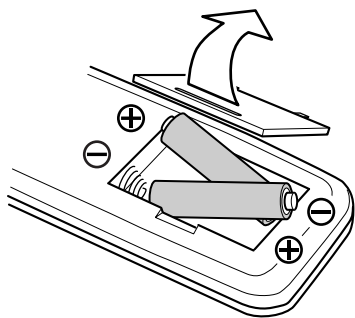
⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期は…

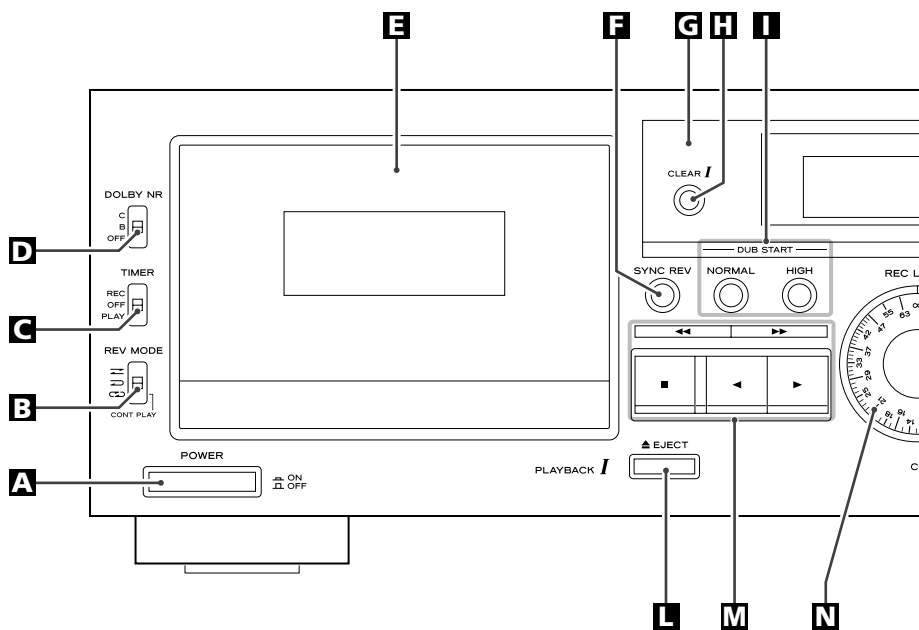
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでお使いください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

各部の名称

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

A 電源 [POWER]
電源のオン/オフを切り換えます。

B リバースモードスイッチ [REV MODE]
リバースモードを切り換えます。
(11、13、14、17、18ページ)

C タイマースイッチ [TIMER]
別売のオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生/録音ができます。通常はオフにしておいてください。
(20ページ)

D ドルビーNRスイッチ [DOLBY NR]
再生/録音する時のドルビーNRを選びます。録音時と再生時は同じポジションにしてください。
(11、14ページ、ドルビーの説明は5ページ参照)

E TAPE I カセットホルダー

F シンクロリバースボタン [SYNC REV]
ダビングのシンクロリバースのオン/オフを切り換えます。(18ページ)

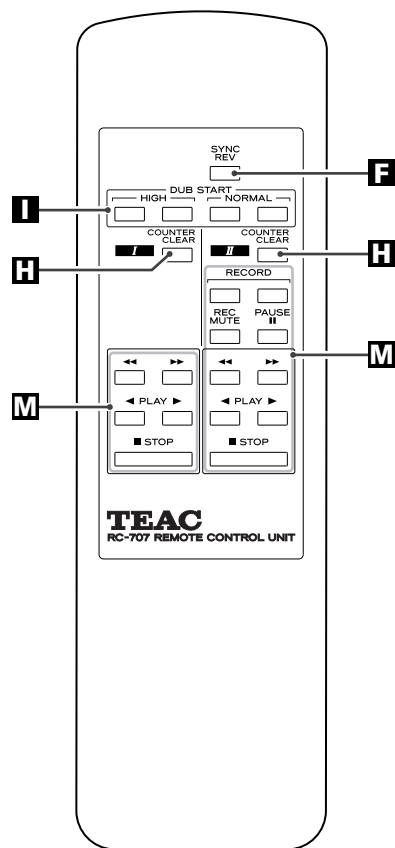
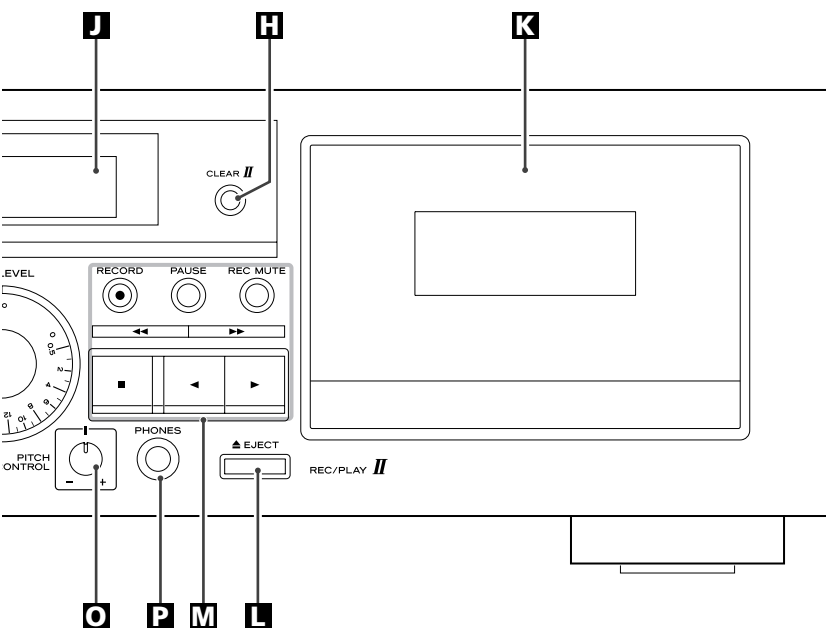
G リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

H カウンタークリアボタン [CLEAR I / II]
TAPE I /TAPE IIのテープカウンターを0000にリセットします。(12ページ)

I ダビングスタートボタン [DUB START]
テープ I からテープ II へのダビングを開始します。定速ダビング [NORMAL] と倍速ダビング [HIGH] があります。(17、19ページ)
リモコンではそれぞれ2個のボタンを同時に押してください。

J ディスプレー
テープ I / II のカウンターやレベルメーターなどが表示されます。

K TAPE II カセットホルダー

L テープ I / II イジェクトボタン [≜ EJECT]
それぞれのカセットホルダーを開きます。

M テープⅠ/Ⅱ操作ボタン

録音 [● RECORD]
このボタンを押すと録音待機状態になります。(14、16ページ)
リモコンではそれぞれ2個のボタンを同時に押してください。

一時停止 [PAUSE]
再生/録音を一時停止します。(12、15ページ)

録音ミュート [REC MUTE]
録音中に4秒間の無録音部分を作るときに使用します。(16、19ページ)

サーチ [◀◀/▶▶]
テープを早送り/巻き戻しします。(12、13ページ)

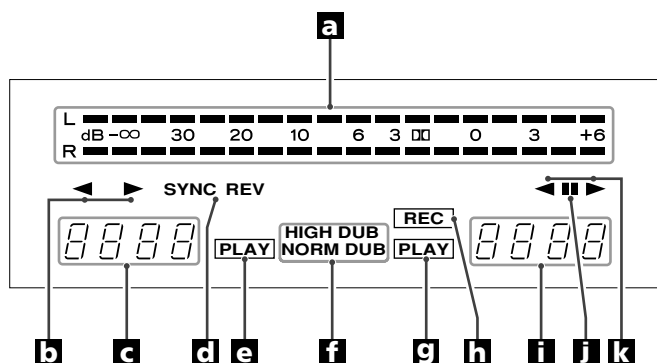
停止 [■]
テープの再生/録音を停止します。

再生 (リバース◀/フォワード▶)
テープを再生します。

N 録音レベルつまみ [REC LEVEL]
録音レベルの調節に使用します。(15、16ページ)

O ピッチコントロールつまみ [PITCH CINTROL]
再生の速度を変えることができます。(12ページ)

P ヘッドホンジャック [PHONES]
ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグをここに差し込んでください。

各部の名称（ディスプレー）

a ピークレベルメーター
再生/録音中のレベルを表示します。

b TAPE I 再生方向表示
TAPE I の再生方向を表示します。

c TAPE I カウンター
通常はTAPE I のカウンターを表示します。クリアボタンを押すと0000にリセットされます。
サーチの時には「CP」とスキップする「曲数」が表示されます。(12、13ページ)

d シンクロリバース表示 [SYNC REV]
シンクロリバースがオンの時に点灯します。
(18ページ)

e TAPE I 再生表示
TAPE I が再生状態の時に点灯します。

f ダビング表示
TAPE I からTAPE II へのダビングの時に、定速ダビングはNORMAL DUBが、倍速ダビングはHIGH DUBが点灯します。(17、19ページ)

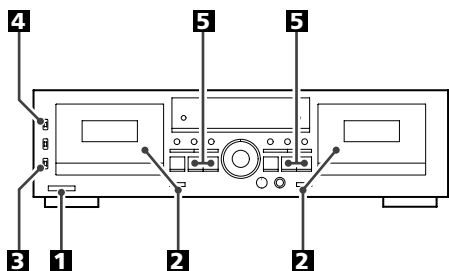
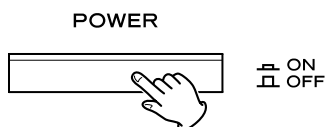
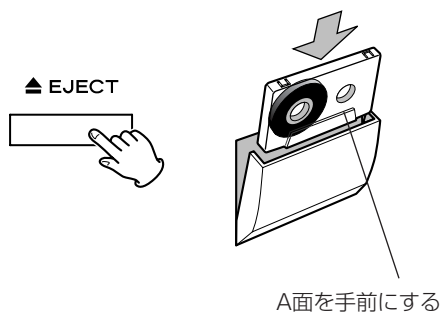
g TAPE II 再生表示
TAPE II が再生状態の時に点灯します。

h TAPE II 録音表示
TAPE II が録音状態の時に点灯します。

i TAPE II カウンター
通常はTAPE II のカウンターを表示します。クリアボタンを押すと0000にリセットされます。
サーチの時には「CP」とスキップする「曲数」が表示されます。(12、13ページ)

j TAPE II 一時停止表示
TAPE II が一時停止状態の時に点灯します。

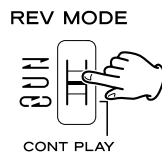
k TAPE II 再生/録音方向表示
TAPE II の再生/録音方向を表示します。

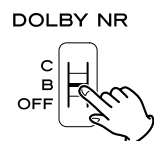
再生（TAPE I またはTAPE II）

1 電源を入れる。

2 カセットを入れる。

A面を手前にする

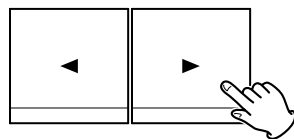
⏏ EJECTボタンを押すとカセットホルダーが開きます。テープが露出している部分を下に、A面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

● 本機ではノーマルテープ(タイプ I)、クロームテープ(タイプII)、メタルテープ(タイプIV)を再生できます。

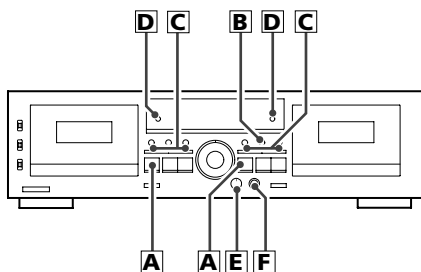
3 リバースモードを選ぶ。

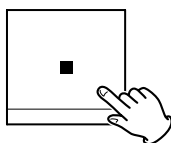
REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。

⇄ ：A面またはB面の片面再生
⊃ ：A面とB面の両面再生
⊂⊃ ：A面とB面の両面繰り返し再生(連続5回)

4 ドルビーNRを選ぶ。

ドルビーB NRで録音されたテープを再生する時はBを、ドルビーC NRで録音されたテープを再生する時はCを選んでください。
ドルビーNRを使わずに録音されたテープを再生する時は、OFFにしてください。

5 再生ボタン(◄または►)を押す。

►：A面から再生が始まります。
リバースモードが⇄の時はA面の再生が終わると停止します。リバースモードが⊃の時は続けてB面を再生してから停止します。リバースモードが⊂⊃の時は連続5往復再生して停止します。

◄：B面から再生が始まります。
リバースモードが⇄の時と⊃の時はB面の再生が終わると停止します。リバースモードが⊂⊃の時はB面を再生した後、連続4往復再生して停止します。

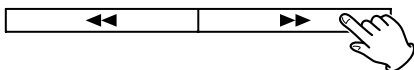
再生（続き）（TAPE I またはTAPE II）

A 再生をやめるには

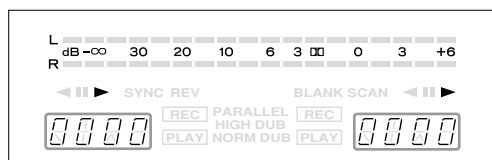
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

B 再生を一時停止するには(TAPE IIのみ)

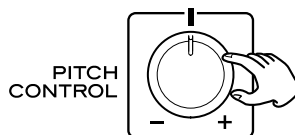
PAUSEボタンを押すと再生が一時停止します。
PAUSEボタンまたは再生ボタン(◀または▶)を押すと再び再生が始まります。

● 一時停止中に、ディスプレーのテープ再生/録音方向インジケーターと逆方向の再生ボタンを押すと、一時停止のままでテープ再生方向のみが変わります。

C 早送り/巻戻し

停止中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押してください。
中断したいときは停止ボタン(■)を押してください。

D テープカウンター

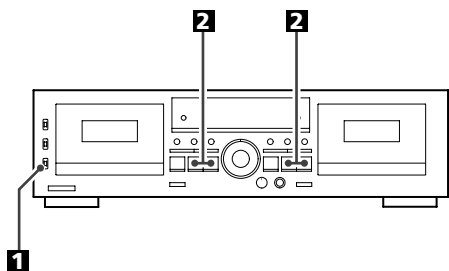
CLEAR I/II ボタンを押すと、それぞれのテープカウンターが0000にリセットされます。

E ピッチコントロール(TAPE I のみ)

カセットの再生時にピッチ(音程)を変えることができます。(録音中/ダビング中は働きません)

PITCH CONTROLつまみを右に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。(最大12%、音程で約1音上がります)
左に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。(最大12%、音程で約1音下がります)

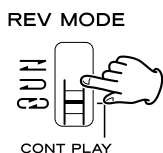
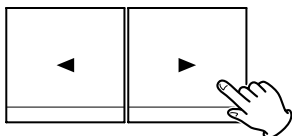
F ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンプラグをPHONESジャックに差し込むと、ヘッドホンで音を聞くことができます。
ヘッドホンプラグを差し込んでも、音声出力端子からの音声は出力されます。

ヘッドホンの種類によっては、大きな音がでる場合がありますのでご注意ください。

連続再生

TAPE Ⅰ とTAPE Ⅱ を連続して再生することができます。

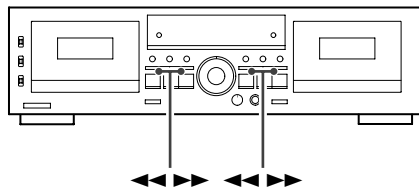
● TAPE Ⅰ とTAPE Ⅱ に再生するカセットを入れてください。
● ドルビーNRスイッチは録音されたときと同じポジションにしてください。

1 停止中にREV MODEスイッチで ⊂⊃(CONT PLAY)を選ぶ。

2 再生ボタン(◄または►)を押す。

再生は、TAPE Ⅰ またはTAPE Ⅱ のA面、B面どちらからでも開始できます。
再生される順序は次のようになります。

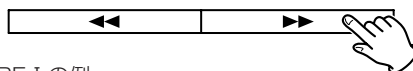
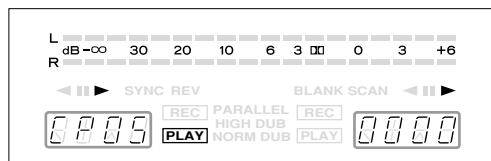
TAPE Ⅰ　A面 → B面
　　　　　↑　　　↓
TAPE Ⅱ　B面 ← A面

両方のカセットを連続5回再生すると停止します。

● 停止、一時停止、早送り/巻戻しなどは、通常の再生と同様に働きます。

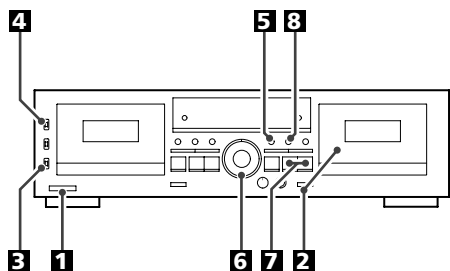
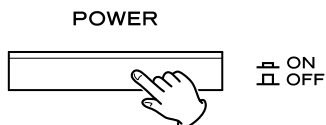
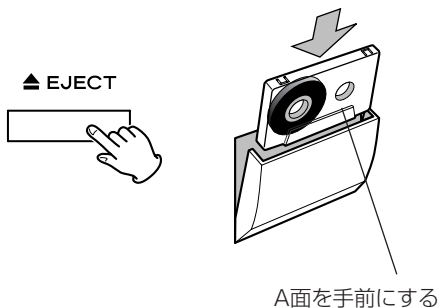
サーチ

コンピュートマチック・プログラム・サーチ
CPS(Computomatic Program Search)機能を使うと、曲間を20まで検出して選曲することができます。

再生中に ◄◄ または ►► ボタンを押すと、テープカウンターにCPと数字(01)が表示されます。
同じ ◄◄ または ►► ボタンを押すたびに数字が大きくなり、反対方向の ◄◄ または ►► ボタンを押すたびに数字が小さくなります。(01～20の範囲で設定できます)
指定した方向へ早送りまたは巻戻しとなり、表示された数の曲間を検出して、曲の頭から再生します。

● 巻戻しサーチ(テープ再生方向と反対の方向)の場合、再生中の曲も数えますので、CP01では再生中の曲の頭に戻ります。

TAPE Ⅰ の例

REV MODEスイッチの位置によって、選曲する範囲が変わります。

⇄ ：片面のみサーチ
⊃ ：テープ再生方向と同じ方向のサーチをした場合、反対の面までサーチ
テープ再生方向と反対方向のサーチをした場合、片面のみのサーチ
⊂⊃ ：片面をサーチした後、さらに両面をサーチ
(再生方向が►の時は、A面→B面→A面、◄の時は、B面→A面→B面の順でサーチされます)

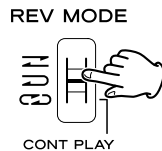
● 曲間に4秒以上のスペースがなかったり、4秒以上あっても雑音が入っているような場合は、検知できないことがあります。

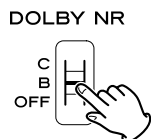
録音（TAPE IIのみ）

1 電源を入れる。

2 TAPE IIに録音用のカセットを入れる。

A面を手前にする

⏏ EJECTボタンを押すとカセットホルダーが開きます。テープが露出している部分を下に、A面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

- カセットの誤消去防止用ツメが折れている場合は、セロハンテープなどで孔を塞いでください。
- 本機ではノーマルテープ(タイプ I)、クロームテープ(タイプII)、メタルテープ(タイプIV)に録音できます。

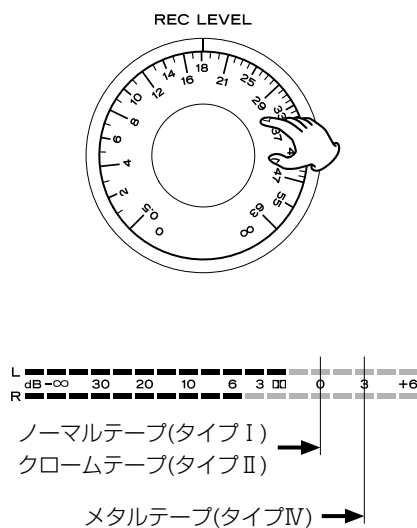
3 リバースモードを選ぶ。

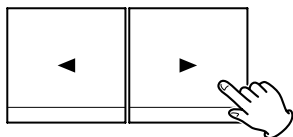
REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。

⇄ ：A面またはB面の片面録音
⊃/⊂⊃：A面とB面の両面録音

4 ドルビーNRを選ぶ。

ドルビーB NRを使用して録音する時はBを、ドルビーC NRを使用して録音する時はCを選んでください。ドルビーNRを使わずに録音する時は、OFFにしてください。

5 RECORDボタンを押す。

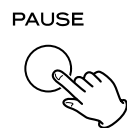
録音待機状態になり、❚❚と REC が点灯します。

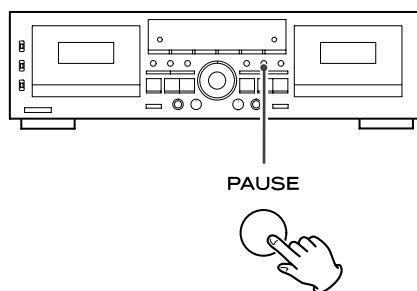
6 録音レベルを調節する。

録音するソースの音を出し、音が最も大きい時のメーターの表示が、ノーマルテープ/クロームテープの場合は0dB、メタルテープの場合は3dBなるようにREC LEVELつまみで調節してください。

7 テープの録音方向を選ぶ。

ディスプレーのテープ再生/録音方向インジケーター(◀/ ▶)が録音したい方向と逆になっている場合は、録音したい方向の再生ボタン(◀または▶)を押してテープ録音方向を変えてください。

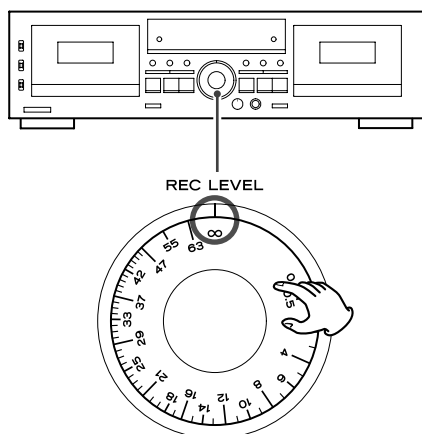
> 現在のテープ録音方向と同じボタンを押すと、録音が始まりますのでご注意ください。

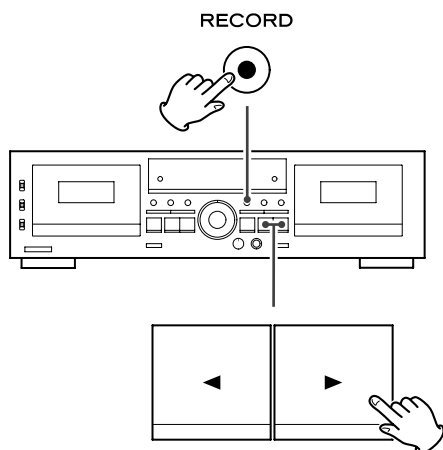
8 録音を始める。

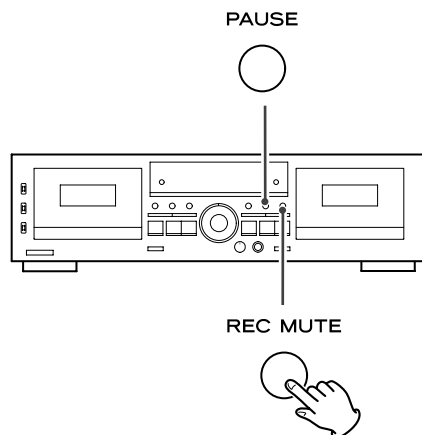
PAUSEボタンまたはテープ録音方向の再生ボタンを押すと録音が始まります。

- 両面に録音する場合は、リバースモードを⊐または⊂⊃にして、フォワード再生ボタン(▶)を押してください。リバース再生ボタン(◀)を押して録音した場合は、B面だけ録音して停止します。
- 録音を終了する時は停止ボタン(■)を押してください。

録音を一時停止するには

録音中にPAUSEボタンを押すと録音が一時停止します。もう一度押すと録音を再開します。

録音を消去するには

録音すると、以前テープに録音されていた内容は消去されます。
上書きせずに録音内容を消去したい場合は、REC LEVELを∞にして録音してください。

すぐに録音を開始するには

急いで録音したいときは、RECORDボタンを押しながら、録音したい方向の再生ボタン(◄または►)を押してください。すぐに録音が開始されます。

無録音状態にするには

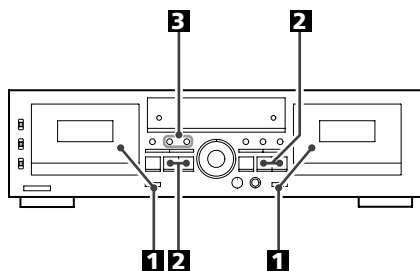
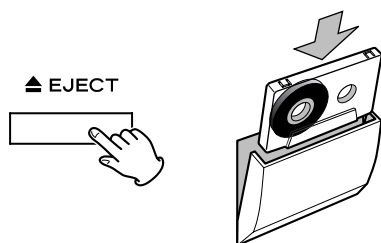
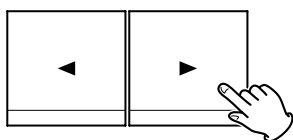
録音中にREC MUTEボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、録音一時停止状態になります。
PAUSEボタンを押すと、録音を再開します。

4秒以上のスペースをつくるには

REC MUTEボタンを4秒以上押し続けます。4秒以上押し続けて指を離すと、録音一時停止状態になります。

4秒以下のスペースをつくるには

REC MUTEボタンを押してから3秒以内にPAUSEボタンを押すと、そこで録音一時停止状態になります。

● 録音一時停止中にREC MUTEボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、一時停止します。

ダビング

1 TAPE Ⅰ に再生用、TAPEⅡに録音用のカセットを入れる。

2 TAPE Ⅰ とTAPEⅡの再生/録音方向を選ぶ。

ディスプレーのテープ再生/録音方向インジケーター(◄/ ►)が再生/録音したい方向と逆になっている場合は、PAUSEボタンを押してから再生ボタン(◄または►)を押すと、再生/録音を開始せずに方向だけ変えることができます。方向を変えた後は、必ず停止ボタン(■)を押して、一時停止を解除してください。

● 現在のテープ再生/録音方向と同じボタンを押した場合は、テープがスタートします。

● 必要に応じて、REV MODEボタンでリバースモードを選んでください。
● ドルビーNRの選択、録音レベルの調節は必要ありません。

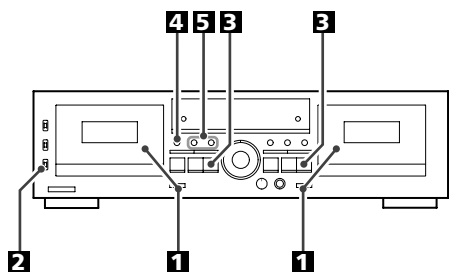
3 ダビングを開始する。

DUB STARTボタンを押すと、ダビングが始まります。定速ダビングはNORMAL、倍速ダビングはHIGHを押してください。

● 定速ダビング中は以下のボタンのみ働きます。
　TAPE Ⅰ ：停止(■)
　TAPEⅡ：PAUSE、REC MUTE、停止(■)
倍速ダビング中は、停止ボタン(■)のみ働きます。
● どちらかの停止ボタン(■)を押すと、両方とも停止します。
● 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで行った直後は、DUB STARTボタンを押しても働きません。5秒以上経ってから操作してください。

● ダビング中はピッチコントロール機能は働きません。
● ダビングでは録音レベルの調節はできません。

● テレビなどの近くで倍速ダビングをすると、テレビの水平発振周波数が録音されることがあります。このような場合は、定速ダビングにするか、テレビの電源を切ってください。

シンクロリバースダビング

TAPE Ⅰ とTAPE Ⅱ が、A面からB面へ移るタイミングを一致させてダビングすることができます。

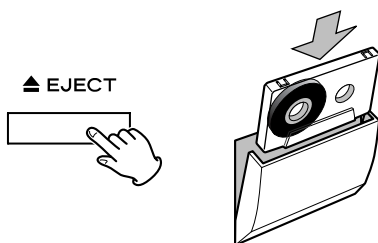
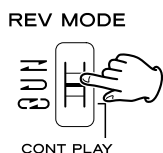
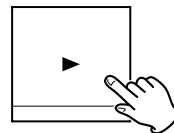
テープの長さが異なる場合、短い方はA面の終わりで一時停止し、長い方のテープのA面が終わるまで待って、B面の再生/録音を同時に開始します。

TAPE Ⅰ の方が長い場合

TAPE Ⅰ のA面/B面とも、終わりの方は録音されません。

TAPE Ⅱ の方が長い場合

TAPE Ⅰ の終了後、TAPE Ⅱ は、A面/B面とも終わりの方は無信号録音になります。

1 TAPE Ⅰ に再生用、TAPE Ⅱ に録音用のカセットを入れる。

2 REV MODEスイッチで⊐を選ぶ。

3 TAPE Ⅰ とTAPE Ⅱ の再生/録音方向を►にする。

ディスプレーのテープ再生/録音方向インジケーターが◄になっている場合は、PAUSEボタンを押してからフォワード再生ボタン(►)を押すと、再生/録音を開始せずに方向だけ変えることができます。方向を変えた後は、必ず停止ボタン(■)を押して、一時停止を解除してください。

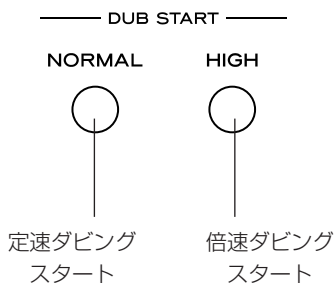
● 現在のテープ再生/録音方向と同じボタンを押した場合は、テープがスタートします。

● ドルビーNRの選択、録音レベルの調節は必要ありません。

4 シンクロリバースをオンにする。

SYNC REVボタンを押して、SYNC REV表示を点灯させてください。

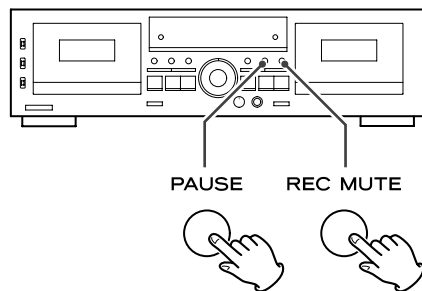
● リバースモードが⊐以外の時、TAPE Ⅰ とTAPE Ⅱ のテープ再生/録音方向が◄の時は、シンクロリバースモードになりません。

5 ダビングを開始する。

DUB STARTボタンを押すと、ダビングが始まります。定速ダビングはNORMAL、倍速ダビングはHIGHを押してください。

- 定速ダビング中は以下のボタンのみ働きます。
  TAPE I ：停止(■)
  TAPE II ：PAUSE、REC MUTE、停止(■)
  倍速ダビング中は、停止ボタン(■)のみ働きます。
- どちらかの停止ボタン(■)を押すと、両方とも停止します。
- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで行った直後は、DUB STARTボタンを押しても働きません。5秒以上経ってから操作してください。

- ダビング中はピッチコントロール機能は働きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。

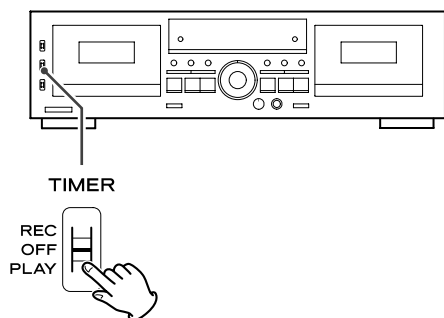
- テレビなどの近くで倍速ダビングをすると、テレビの水平発振周波数が録音されることがあります。このような場合は、定速ダビングにするか、テレビの電源を切ってください。

ダビング中の編集

不要な曲をカットしたり、曲間にスペースを入れながらダビングすることができます。(定速ダビングのみ)

**1. ダビング中に、TAPE IIのPAUSEボタンを押すと、TAPE IIのみ一時停止します。
ダビング中に、TAPE IIのREC MUTEボタンを押すと、TAPE IIは4秒間の無信号録音をしてから、一時停止します。**

- 一時停止中は、TAPE I は再生を続けますが、TAPE II は録音しません。

2. 再びダビングを始めたいところで、TAPE IIのPAUSEボタンを押すとダビングを再開します。

タイマー再生/録音

タイマー再生

TAPE I またはTAPE II にカセットを入れた状態でTIMERスイッチをPLAYにすると、本機の電源が入った時に自動的に再生を始めます。

● TAPE I とTAPE II の両方にカセットを入れた場合は、TAPE I を優先して再生します。
● TAPE I とTAPE II の両方にカセットを入れ、リバースモードを⊂⊃(CONT PLAY)にしておくと、連続再生します。

● 再生はA面から始まります。

● 必要に応じてドルビーNRを選択しておいてください。

タイマー録音

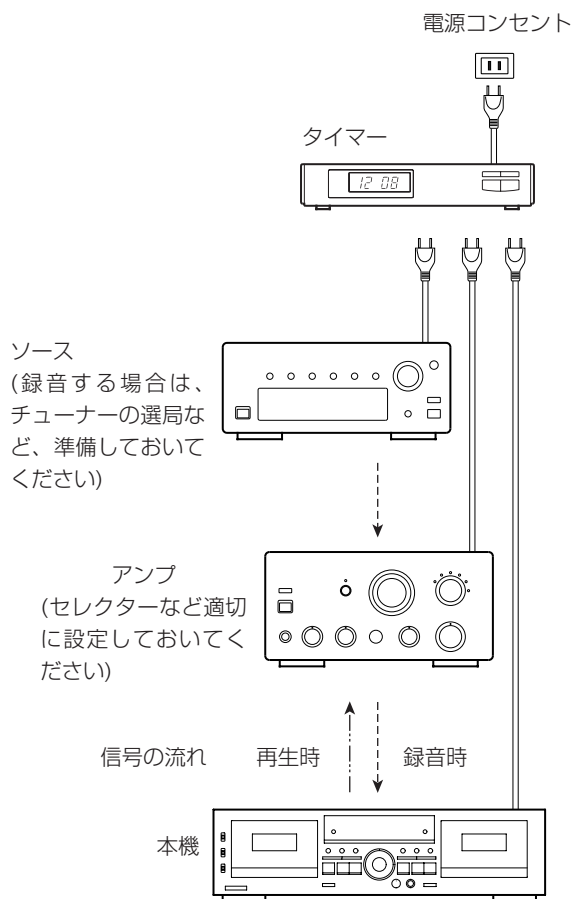
TAPE II にカセットを入れた状態でTIMERスイッチをRECにすると、本機の電源が入った時に自動的に録音を始めます。

● 録音はA面から始まります。

● 必要に応じてドルビーNRを選択しておいてください。

タイマーを使用しない時はTIMERスイッチでOFFを選んでください。

市販のタイマーと接続すると、希望の時刻に再生/録音することができます。
下図のように接続してタイマーを設定すると、各機器の電源が切れます。設定した時刻になると、各機器の電源が入って再生/録音を始めます。

● 録音するソースを準備し(チューナーなどは選局しておいてください)、アンプのセレクターを適切に設定してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。
- ➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

音が出ない。
- ➡ アンプとの接続を確認してください。
- ➡ アンプの操作を確認してください。

リモコンで操作できない。
- ➡ 電源ボタン(POWER)を押して、電源をオンにしてください。
- ➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ➡ 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

雑音がする。
- ➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

操作ボタンを押しても動作しない。
- ➡ カセットが入っていない場合はカセットを入れてください。
- ➡ カセットを正しく挿入してください。

カセットホルダーが閉まらない。
- ➡ カセットを正しく挿入してから閉めてください。

音質が悪い。
- ➡ ヘッドを清掃してください。
- ➡ ドルビーNRを使用して録音したテープを再生するときは、DOLBY NRスイッチを録音したときと同じポジションにしてださい。

録音できない。
- ➡ TAPE Ⅰではでは録音できません。TAPE Ⅱで録音してください。
- ➡ カセットの録音防止用のつめが折れている場合は、セロハンテープなどを貼って孔をふさいでください。
- ➡ アンプやソース機器との接続を確認してください。
- ➡ アンプのセレクターが適切な設定になっているか確認してください。
- ➡ 録音レベルを適切に調節してください。

再生速度がおかしい。(再生のピッチがおかしい)
- ➡ PITCH CONTROLつまみを確認してください。

リバースできない。
- ➡ REV MODEスイッチで⊐か⊂⊃を選んでください。
- ➡ REV MODEスイッチが⊐の時は、A面から再生してください。

シンクロリバースダビングできない。
- ➡ REV MODEスイッチで⊐を選んでください。
- ➡ TAPE ⅠとTAPE Ⅱ両方にカセットを入れてください。
- ➡ TAPE ⅠとTAPE Ⅱ両方ともテープ再生/録音方向を▶(A面側)にしてください。

連続再生できない。
- ➡ REV MODEスイッチで⊂⊃を選んでください。
- ➡ TAPE ⅠとTAPE Ⅱ両方にカセットを入れてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、1分以上経ってから始めから操作してください。

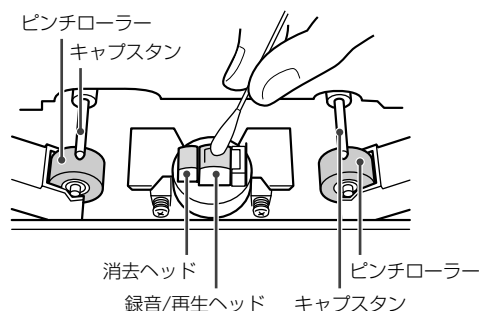
お手入れ

表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ヘッドの清掃

ヘッド部が汚れると、再生/録音の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

注意：クリーニング液が乾くまで再生/録音を行わないでください。

仕　様

トラック形式 . . . . 4トラック2チャンネル・ステレオ
ヘッド構成. . . . . 再生ヘッド×1(TAPE Ⅰ)
録音再生ヘッド ×1(TAPE Ⅱ)
消去ヘッド×1(TAPE Ⅱ)
テープ速度. . . . . 4.8 センチ/秒
9.5 センチ/秒 (倍速ダビング時)
ピッチコントロール . . . . ±12%
早巻き時間. C-60テープで約110秒
モーター. . . . . DCサーボモーター(キャプスタン)
(TAPE Ⅰ/TAPE Ⅱ 各1)
ワウ・フラッター . . . . 0.09 % (WRMS) ±0.1 %
周波数特性(総合)
メタルテープ(タイプ Ⅳ). . . . . 25～20,000 Hz
30～19,000 Hz(±3dB)
クロームテープ(タイプⅡ). . . . . 25～19,000 Hz
30～18,000 Hz(±3dB)
ノーマルテープ(タイプⅠ). . . . . 25～18,000 Hz
30～17,000 Hz(±3dB)
総合S/N比 . . . . 58 dB (NRオフ、規定録音レベル)
69 dB (ドルビーB NR IN CCIR-ARM)
79 dB (ドルビーC NR IN CCIR-ARM)

ライン入力端子(RCA)
100 mV (入力インピーダンス50kΩ)
ライン出力端子(RCA)
0.46 V (負荷インピーダンス50kΩ以上)
ヘッドホン出力端子(ステレオ標準ジャック)
0.95 mW/8Ω

電源 . . . . 100 V, 50-60 Hz
消費電力 . . . . 16 W
外形寸法(幅×高さ×奥行、突起部を含む)
435 x 127 x 292 mm
質量. . . . . 3.9 kg
付属品
リモコン(RC-707)×1
リモコン用乾電池(単3)×2
取扱説明書×1
保証書×1
ステレオRCAケーブル×2

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

21ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：W-790R
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3　http://www.teac.co.jp/av

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1205·MA-0178